

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 松江海洋センター・秋鹿なぎさ公園
 指定管理者 株式会社SKSS
 担当課 スポーツ課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 海洋センターでは安全な施設づくりに向け、日常点検に加え、定期的に設備や備品等の詳細点検を行い、適切な施設管理に努めている。施設の稼働率向上のため、積極的にPR活動を行ったり、教室の開催を行っている。特に今年からはタスポニー教室を開始し多数の方に利用いただいている。なぎさ公園では夏にマリンスポーツフェスタを開催し、マリンスポーツの普及促進を図った。自主事業である「手ぶらでBBQ」や「秋鹿よんさん市」は認知度も上がってきている。サービス内容に注力しお客様満足度の向上に努めている。 【評価できない、または改善すべき点】 施設の老朽化が進んでおり、修繕箇所が増えてきている。細部にわたり点検をした結果を生かし、施設・設備の長寿命化につながるよう経済的、効率的な対処方法を検討すること。
	A	【優れていると評価した点】 各種研修に参加しスタッフの管理に関するスキルアップや安全管理に努めた。設備点検の項目を増やし細部まで実施することで危険箇所や不良品の発見が速やかにでき早めの交換や修理を行った。施設内設置のアンケートボックスのほかにも定期的に利用者の意見を直接聞いたり集中アンケートを行い、対応した内容を施設内に貼り出す活動を行うことにより利用者満足度の向上を図った。海洋センターにおいてはタスポニー教室など申請時に提案していなかった事業も開催し施設稼働率向上と認知度アップに努めた。なぎさ公園においては前年同様マリンスポーツフェスタの開催時期を8月に変更したことにより天候に恵まれたたくさんのお客様で賑わった。道の駅の機能として重要な物産販売「秋鹿よんさん市」を引き続き毎週土日に開催と連休となる祝日も開催し利用者満足度の向上を図った。 【評価できない、または改善すべき点】 施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきているため、安全面に配慮しさらに点検を強化していく必要がある。

2. 施設利用の増減について

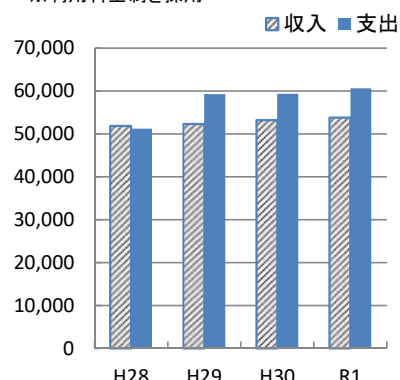
総括	両施設とも、新型コロナウイルスの影響で大会がキャンセルとなったり、利用の自粛が続いた中、利用者数はほぼ前年度並みに推移している。利用料収入は消費税の増税に伴う利用料金の変更で増加した。しかしながら、申請当初は黒字だったものの、平成29年度から指定管理者の社内都合で、非正規職員を正規職員に代えたことから人件費が増加し、近年は赤字が続いている。 自主事業では、海洋センターでは児童を対象とした「スポーツ教室」や、なぎさ公園では、「手ぶらでBBQ」、地元野菜を販売する「秋鹿よんさん市」が利用者に定着し、収益を上げている。
----	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

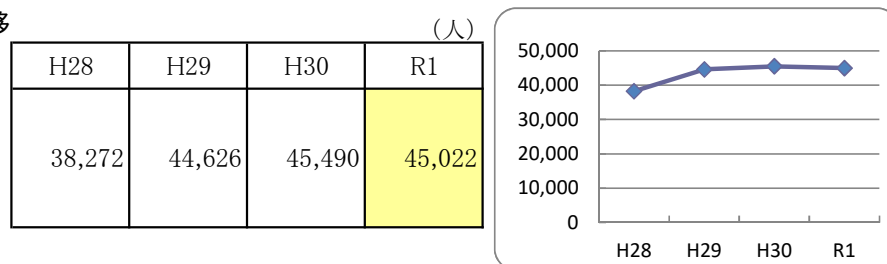
(千円)

項目\年度		H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	51,889	52,286	53,191	53,777
	うち指定管理料	47,400	47,400	47,400	47,276
	うち利用料	4,489	4,886	5,791	6,501
	支出	51,246	59,255	59,371	60,601
	差引	643	△ 6,969	△ 6,180	△ 6,824
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	28,998	1,255	1,692	6,052
	うち市の修繕費	28,998	1,255	725	5,937

※利用料金制を採用



(2) 利用者の推移



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	松江海洋センター利用者数	37,000	37,400	36,060	96.4%	97.5%
	秋鹿なぎさ公園利用者数	5,700	8,950	8,962	100.1%	157.2%
	自主事業の実施数	8	12	14	116.7%	175.0%
アウトカム	生涯スポーツ推進事業の参加者数	6,000	8,490	3,930		
				達成度平均	104.4%	143.2%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 海洋センターはよりたくさんの市民に施設を知っていただけるようタスポニー教室など新規事業の開催と現在行っているスポンジテニス教室の実施数を好評につき増やした。各事業の実施後に振り返りを行い次回に反省を活かすなど質の向上も図った。なぎさ公園は自主事業で開催している手ぶらでBBQや物産販売「秋鹿よんさん市」が施設の機能を果たし認知度が上がってきている。	【達成度の原因・分析】 両施設とも継続して行っている事業の見直しを図ったり、新たな企画を行ったりしており、利用者の満足度向上に努めている。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
	①満足している 28件(70%) ②どちらともいえない 2件(5%) ③満足していない 10件(25%)	①良い ②苦情 海洋センター:トイレの臭いが気になる。 →消臭剤増設や臭いの元を調査・対応した。 ③要望

(4)住民サービス向上の事例

地元特産品販売の実施(なぎさ公園)
 地元クリーン活動の実施・参加(海洋センター)

3. 自主事業

総括	両施設とも継続して行っている事業の認知度が高まってきている。また新たな事業を企画するなど、利用者の満足度向上に努めている。海洋センターでは「スポーツ教室」、なぎさ公園では「手ぶらでBBQ」や「秋鹿よんさん市」などを軸に収益を上げている。PR方法も工夫をこらし、更なる利用者獲得・満足度向上を図ってもらいたい。
実施状況	海洋センターではスポーツ教室のほか、小学生を対象としたなつやすみマリン教室やフットサル交流会、ソフトテニス交流会等のイベントを開催した。そのほか申請時には提案していなかったスポンジテニス教室やタスポニー教室を開催した。 なぎさ公園では定期的に地元野菜特産市である「秋鹿よんさん市」をはじめ、手軽にBBQを楽しめる「手ぶらでBBQ」を継続して行った。

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

海洋センターでは、定期的な点検はもとより、スタッフの安全研修を行うなど安全で安心な施設環境を提供していく。稼働率アップのため、PR活動を積極的に行っていく。継続して利用者アンケートの実施し、事業内容を見直しなど、利用者満足度向上のため質の向上に努める。
 なぎさ公園では現在の事業を継続しながらも、利用者のニーズを時代の変化を受け止め、利用者満足度向上につながるようレベルアップしていく。